

# やってみる(挑戦)

～わくわく登校 納得の下校～

## ◎防災の大切さを体験しながら学ぶ

10月27日(日)には、「防災授業」を本校で行いました。本来、荒尾市総合防災訓練と一緒にを行う予定でしたが、衆議院選挙が入ってきた関係でできませんでした。(荒尾市総合防災訓練は、11月24日(日)に実施されます。)

当日は、7名の荒尾市防災士会の方においでいただき、「①災害についての講話」を低・高学年の二手に分かれて聞いたり、「②煙体験」、「③消火器体験」を行ったりしました。

「①災害についての講話」では、災害の種類や災害が起こりやすい場所を考えたり、「災害時にリュックに入れるもの3つを選ぶ」活動をしたりしました。子供たちは、悩みながらも、「自分だったら◇と▽と▲」とか「友達と相談した結果○と△と■」と、ちゃんとした理由付けをし、持っていくものを決めていました。

「②煙体験」は、3年教室を使い、ハンカチ等で口をふさぎ、低い姿勢で教室の奥にあるお手玉を持ってくるといった活動を行いました。火事の際には、白煙ではなく、黒煙があがり、さらに見えなくなるかもしれませんね。貴重な体験でした。

「③消火器体験」では、水消火器を使っての体験でした。防災士さんの説明をしっかりと聞く子供たちの表情が印象的で、消火の前に「火事だあ!!」と言っている大きな声にも真剣さがうかがえました。

子供たちの感想からも防災士さんのご指導で、子供たちの防災意識が高まったと感じました。大変有意義な2時間となりました。

## ◎「架け橋期(5歳児から小学1年生までの2年間)」を円滑に進めるために

就学前教育では、今、「架け橋期」の取組が重要視されています。この2年間を円滑に進めていくためには、幼保、小の先生方は勿論のこと、教育委員会、福祉部局の行政、そして、保護者、地域の理解も必要とされています。

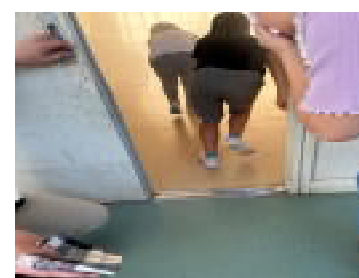
現在、本校では、清里保育園との交流や荒尾第一幼稚園との情報交換を行い、円滑な接続の在り方を模索しています。11月下旬には1・2年生と清里保育園の園児とが秋祭りの交流会を本校で行います。今年度は、お互いの目的を明確にして交流を行い、意見交換をし、次年度の教育計画に生かしていきたいと考えています。

また、荒尾第一幼稚園の活動を本校職員に紹介し、「架け橋期」の【子供への教師の関わり方】や【学習環境の設定の仕方】などを学んでいます。園児を見取り、一人ひとりにあった環境の構成を考えていく姿勢には、小学校でも見習うべき部分が数多くあることを学び、是非、このことを幼保等、小の連携に生かしていきたいと考えています。

今後は、新入児体験入学や学校運営協議会、次年度始業式等で保護者や地域の方への啓発と理解を求めていきたいと考えています。



① 防災士による災害についての講話



②煙体験の様子



③消火器体験の様子

